

データでみるJAのイメージ



「食料・農業・JAに関するアンケート調査(2020年度)」より

vol.4



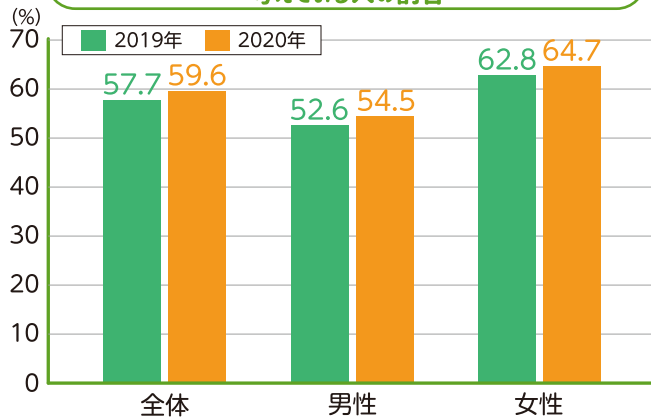
「食料・農業・JAに関するアンケート調査(2020年度)」によると、JAが農業になくてはならない組織だと感じる人の割合は6割近くに上りました。農産物販売や直売所が役立っていると感じている人が多く、性別で見ると女性の関心が高くなっています。

**全国の生活者の6割が
「JA(農協)は農業にとってなくてはならない組織」だと考えています**

JAは農業にとって欠かせない組織という認識が高まっています

「食料・農業・JAに関するアンケート調査(2020年度)」によると、JAが農業になくてはならない組織だという肯定的意見の割合は59.6%でした。前年から1.9%増加し、農業においてJAはなくてはならないという認識がますます高まっています。性別で比較すると男性の肯定的意見が54.5%であるのに対し、女性が64.7%と女性の方が高いことが分かりました。一方、男女ともに20、30代では肯定的意見の割合が全体平均より低く、若年層へのPRが課題となっています。

JA(農協)は農業にとってなくてはならない組織だと考えている人の割合



JA全中は2011年から、食料・農業・JAに関する生活者の意識や行動についてアンケート調査を行っています。生活者の傾向を把握して事業に生かしていくことを目的としています。調査は日本全国の2,500人を対象とし、期間は2020年11月27日から2020年12月3日の6日間です。



耕そう、大地と地域の未来。